

2026（令和8）年度

牧 陵 会 定 時 総 会 資 料

2026年6月6日（土）14：00～

リロの会議室 関内横浜スタジアム前

開会

黙祷

牧陵会会長挨拶

議長選出

書記及び議事署名人の指名

【議事】

I 2025（令和7）年度牧陵会活動報告について

II 2025（令和7）年度決算報告について

2025（令和7）年度決算報告

2025（令和7）年度会計監査報告

III 母校創立100周年事業報告について

IV 2026（令和8）年度活動計画について

V 2026（令和8）年度予算について

VI 2026（令和8）年度牧陵会役員の改選について

【報告事項】

牧陵会からの各種委員会等委員について

I 2025（令和7）年度牧陵会活動報告

2025（令和7）年度は2023（令和5）年に創立100周年を迎えた母校の創立100周年記念式典が新築された体育館において開催されました。式典には、在校生や卒業生等約1,200名が出席し、横濱第三中学校として創立され、横浜第三高等学校、横浜緑ヶ丘高等学校へと繋がる母校の歴史を共に振り返る貴重な機会となりました。

また、同期会やクラス会の開催も活発に開催されており同窓生たちの交流が盛んになっています。

牧陵会では、青年部の主導により、SNS（Instagram）を活用した広報活動を新たに始めました。一方、会費収入が年々減少する中、印刷費・郵送費の高騰により年2回発行している「牧陵新聞」の郵送が難しくなり、2025年度は2回発行のうち郵送が1回、メール配信及びHPへの掲載が1回となりました。既存の各種事業についても見直しを検討するとともに、若い世代の会員との交流の機会を創出する取組などを進めました。

1 会員相互の交流、親睦の場を提供する事業

(1) 2025（令和7）年度牧陵会総会・懇親会の開催

年次総会を開催するとともに、懇親会を開催し、会員相互の親睦を深めました。

期 日：2025年6月7日（土）

会 場：（総会）波止場会館（懇親会）中華街・大珍楼

参加者：（総会）43名（懇親会）40名

(2) スポーツ応援隊の実施

野球部の試合（県大会以上）を部活OB会と協力して応援隊を結成し、会員に参加を呼びかけました。会場ではオリジナル応援タオルを配布しました。

実 績：2025年7月11日（金）対 保土ヶ谷高校戦

2025年7月15日（金）対 川和高校戦

タオル配布枚数：合計65枚

(3) 牧陵・緑のフェスティバル

ホームカミングデーとして母校に集まる機会を提供し、会員同士の親睦を深めるとともに愛校心及び同窓会への帰属意識を育みました。

期 日：2025年11月15日（土）

会 場：横浜緑ヶ丘高校

参加者：92名

内 容：緑のフェスティバルクイズ、校史資料室で100周年記念誌販売、音楽系3団体によるステージ、盆栽クラブ展示・体験など。

同日にYCACにて後夜祭も開催され、98名が参加しました。

(4) 同期会幹事委員会の開催

牧陵・緑のフェスティバルと同日に、各年代の同期会幹事の交流会を実施し、情報交換と親睦を深めることで世代を超えた繋がりをつくりました。

期 日：2025年11月15日（土）

会 場：横浜緑ヶ丘高校

参加者：25名

内 容：牧陵会の活動報告、メモリアル同期会の案内、会員同士の交流

(5) 第20回青春かながわ校歌祭への参加

神奈川県立高等学校同窓会が一堂に会し、高校23期の片倉正一さんの指揮のもと母校の校歌を斉唱することで会員相互の交流を促進しました。参加にあたり在校生の参加も呼びかけました。

期 日：2025年10月18日（土）

会 場：やまと芸術文化ホール（運営幹事校：神奈川県立川崎高等学校）

参加者：71名（卒業生51名、在校生20名）

出演者：66名

内 容：横濱第三中学校校歌 横浜緑ヶ丘高校校歌

(6) 牧陵会新年のつどい開催

新年を祝うとともに会員相互間の交流を図り、親睦を深めました。

期 日：2026年1月25日（日）12：00～

会 場：横浜中華街 富泰楼

参加者：63名

(7) SNSを活用した情報発信及び交流の促進

若年層が日常的に接するSNS（Instagram）を活用し、若手会員との接点を新たに創出し、牧陵会活動への関心と参加意欲を高めました。

投稿数：23回（2025年7月～2026年3月）

閲覧数：148,702回

総フォロワー数：396名

(8) 卒業生へのインタビュー及びnoteを活用した情報発信

多方面で活躍している卒業生の様々な活躍状況、在学時の緑高の様子、後輩へのメッセージ等を直接インタビューし、青年部会が中心となって「note」を活用して発信し、若手会員のキャリアデザインの一助にして頂くことに加え、若手会員に対する牧陵会の認知を拡大するとともに牧陵会活動への関心と参加意欲を高めました。

※「note」：文章や画像、音声、動画を投稿して、ユーザーがそのコンテンツを楽しんで応援できるメディアプラットフォーム

インタビューア：佐藤 颯 氏（高校73期、牧陵会青年部会長・会員部会副部会長）
渡邊 宥介 氏（高校73期）

投稿数：5回（2025年7月～2026年3月）

- ・ L'Oréal Brandstorm 2025 日本代表として世界大会進出（1回）
青木 心 氏（高校 75 期）、千葉 奏太 氏（高校 75 期）
舟山 美碧 氏（高校 75 期）
- ・ STV アナウンサー（計 3 回）
五百住 有希 氏（高校 73 期）、吉川 典雄 氏（高校 45 期）
- ・ ソロアーティスト（1回）
飯澤 遥士 氏（高校 73 期）

※STV アナウンサーである両名の記事は Instagram 上で計 40,000 件のインサイトを獲得

（9）同期会開催支援

各期の同期会開催にあたり、会員情報の提供や支援金を支出しました。

支援実績：総額 20 万円

高校 19 期	2025 年 4 月	喜寿 2 万円
高校 67 期	2025 年 6 月	メモリアル 5 万円
高校 24 期	2025 年 9 月	通常 1 万円
高校 21 期	2025 年 9 月	通常 1 万円
高校 18 期	2025 年 10 月	喜寿 2 万円
高校 7 期	2025 年 10 月	米寿 2 万円
高校 73 期	2026 年 1 月	メモリアル 5 万円
高校 26 期	2026 年 2 月	古希 2 万円

（9）その他

会員同士の親睦や在校生との交流を促進する事業の支援、企画・実施

- ・ 牧陵会員の主催するスポーツ・文化催事を各部会と連携し応援しました。
- ・ 会員による同好会の結成及び活動を支援しました。

支援実績：10 万円（5 団体）

2 母校の発展に寄与する活動

（1）「学びの奨励基金」運営への協力

生徒の主体的な学びに対して奨励金を交付する基金の運営、選考に委員として就任し協力しました。

ア 「学びの奨励基金」運営委員会（3名）

期 日：2025 年 7 月 28 日

イ 「学びの奨励基金」選考委員会（3名）

期 日：第 1 回 2025 年 7 月 28 日

第 2 回 2025 年 10 月 31 日

ウ 奨励金交付

件 数：4 件

交付額：636,040 円

(2) 緑高祭開催支援

緑高生の最大行事のひとつである緑高祭の開催を支援しました。

期 日：2025年6月14日（土）～15日（日）

会 場：横浜緑ヶ丘高校

内 容：開催支援金の交付、校史資料室での展示

(3) 「緑高セミナー」開催支援

緑高が在校生対象に開催するセミナーへの講師派遣など開催を支援しました。

2025年度は緑のフェスティバルと同日に開催。

期 日：2025年11月15日（土）

会 場：横浜緑ヶ丘高校

内 容：「喫茶去（きっさこ）ガラスの茶器でお点前（表千家）」

お茶席を設け、茶道とガラス茶器についてお話しいただきました。

参加者：30名

講 師：小西 潮 氏（高校35期、潮工房） 梅原 一夫 氏（高校35期）、
江波 富士子 氏（潮工房）

(4) 緑高生への講演会支援

在校生向け講演会に講師として卒業生を紹介しました。

期 日：2025年10月15日（水）

会 場：横浜緑ヶ丘高校

講 師：横浜市立大学学長 石川 義弘 氏（高校29期）

対象者：1年生（全員）

(5) 母校の運営への参画

学校運営協議会へ委員として就任しました（2名）

第1回委員会 2025（令和7）年7月11日（金）

第2回委員会 2025（令和7）年12月4日（木）

第3回委員会 2026（令和8）年3月24日（火）

(6) その他、母校及び在校生への支援

母校活動支援金：20万円（ダンス部、吹奏楽部、緑高祭）

3 広報活動ほか、本会の活動基盤強化を図るための事業

(1) SNSを活用した情報発信及び交流の促進（再掲）

若年層が日常的に接する SNS（Instagram 等）を活用し、若手会員との接点を新たに創出し、牧陵会活動への関心と参加意欲を高める取り組みを進めました。

(2) 牧陵新聞の発行

牧陵会行事の案内、学校の様子や同窓生の活躍などを紹介しました。

なお、牧陵新聞の発行回数、送付方法、電子化など新たな発行方法への転換を図りました。

第49号 2025（令和7）年8月発行 14,000部郵送

第50号 2026（令和8）年1月発行 メール配信

(3) ホームページの改善及び活用

新着情報がわかりやすく告知できるページ構成に改善するとともに、多くの会員にアクセスしてもらえる方法を検討・実施しました。

(4) 宛先不明会員の解消、会員情報の整備

会員同士の交流活性化のため、引き続き、会員情報の整備を行いました。

(5) 会費納入率向上及び収支見直し

年々低下している会費納入率の向上策や経費削減策を検討し、新たな会費支払方法として会費ペイの導入を検討しました。

Ⅱ 2025（令和7）年度 牧陵会決算報告書

自 2025年4月1日 至 2026年3月31日

【収益】

（単位:円）

項目	2025年度決算額	2025年度予算額	決算予算差額	内訳
会費収入	4,230,000	4,700,000	-470,000	当期2,115名（前期2,092名）
寄付金収入	2,894,346	3,500,000	-605,654	
緑のフェスティバルチケット収入	170,000	0	170,000	後夜祭参加85名
新年会収入	438,000	455,000	-17,000	参加73名
雑収入	42,057	50,000	-7,943	三徳会コピー機負担分他
受取利息	25,035	5,876	19,159	
入会金	810,000	840,000	-30,000	新卒業生270名
収益合計	8,609,438	9,550,876	-941,438	

【費用】

項目	2025年度決算額	2025年度予算額	決算予算差額	
通信費	204,256	80,000	124,256	電話料.往復はがき.メール配信
総会・幹事会開催費	13,900	42,000	-28,100	総会会場費
事務所賃借料	1,256,715	1,270,000	-13,285	事務所家賃.水道光熱費
事務局人件費	1,056,836	680,000	376,836	4～7月3名週3日 8月以降2名週2日
印刷複写費	86,364	100,000	-13,636	コピー機カウンター料
事務機器賃借料	210,936	200,000	10,936	コピー機リース料
会費等振込手数料	331,625	350,000	-18,375	
事務用品等	81,481	82,000	-519	会計ソフト更新料.コピー用紙他
総務部会運営費	128,512	30,000	98,512	新卒生入会案内作成.消耗品.ごみ廃棄
会員活動費	16,665	0	16,665	緑樹会20回記念絵画展贈花
同期会支援費用	200,000	200,000	0	メモリアル2件.敬老4件.一般2件
同好会支援費用	100,000	100,000	0	緑樹会.吹奏楽.合唱.ゴルフ.ボーリング.盆栽
事業活動費	1,222,156	1,030,000	192,156	緑のフェスティバル.校歌祭.新年会
広報費	3,354,852	3,333,000	21,852	牧陵新聞49号.ホームページ
牧陵校史資料室運営費	32,775	140,000	-107,225	コピーカウンター.備品.78期卒業アルバム
母校活動支援金	200,000	160,000	40,000	緑高祭.吹奏楽部.ダンス部
SNS発信費用	110,844	430,000	-319,156	
費用合計	8,607,917	8,227,000	380,917	
収益費用差額	1,521	1,323,876	-1,322,355	

Ⅱ 2025(令和7)年度 資産・負債内訳

2026年 3月31日現在

(単位:円)

【資産】

【流動資産】	期末残高
現金	116,940
普通預金	18,718,547
未収入金	236,000
流動資産合計	19,071,487
【固定資産】	
差入保証金	427,680
固定資産合計	427,680
資産合計	19,499,167

【負債】

【流動負債】	期末残高
未払費用	92,294
預り金	3,374,024
借入金	998,260
流動負債合計	4,464,578
負債合計	4,464,578

預金内訳	期末残高
ゆうちょ銀行振替	208,166
ゆうちょ銀行通常	505,422
横浜銀行普通	234,758
横浜信金普通(積立金)	14,543,462
横浜信金100周年	3,226,739
合計	18,718,547

未払費用内訳	期末残高
ペイパル引出手数料	32,294
事業部会タオル代	60,000
合計	92,294

預り金内訳	期末残高
100周年事業募金等	3,374,024
合計	3,374,024

未収入金内訳	期末残高
ペイパル会費収入	142,000
ペイパル寄付金収入	45,000
記念誌販売代金	49,000
合計	236,000

借入金内訳	期末残高
活動維持積立金より一時借	998,260
合計	998,260

積立金内訳	期首残高	預金利息	期末残高
牧陵会基金積立金(横信)	10,792,508		10,792,508
記念事業積立金(横信)	2,658,613		2,658,613
活動維持積立金(横信)	1,069,259	23,082	1,092,341
活動維持積立金(浜銀)	998,260	0	998,260
合計	15,518,640	23,082	15,541,722

Ⅲ 母校創立 100 周年事業の報告について

横浜緑ヶ丘高等学校 100 周年事業委員会

2023（令和 5）年に創立 100 周年を迎える母校（横濱第三中学校、横浜第三高等学校、横浜緑ヶ丘高等学校）を祝うため、横浜緑ヶ丘高等学校 100 周年事業委員会を設置して記念募金をはじめとした様々な記念事業を実施しました。

2025（令和 7）年度は会場となる新体育館の工期遅れのため延期となっていた創立 100 周年記念式典が開催されました。また、多くの会員からの記念寄付金により教育環境整備を行い、生徒の学習環境の改善が図られました。

なお、100 周年事業委員会は 2026 年 3 月をもって終了しましたが、現在準備を進めている残りの教育環境整備事業等については今後、学校が主体となって取り組みます。

委員会設置：2019（令和元）年 12 月 12 日～2026（令和 8）年 3 月末

構成団体：横浜緑ヶ丘高校、後援三徳会、牧陵会（委員長は牧陵会代表）

◆ 各年度の記念事業：【最終報告】参照

◆ 記念募金最終報告

記念募金により県の通常予算ではなかなか対応できない教育環境の整備を進めました。募金は直接記念事業に充てる募金と県の「まなびや基金」を通じて施設整備に充てられる募金との 2 種類を実施しました。

募金総額 28,677,262 円

一般募金：14,310,262 円

まなびや基金分：14,367,000 円

【2025（令和 7）年度事業】

1 記念式典の開催

（1）開催日

2025（令和 7）年 5 月 23 日（金）

（2）会場

横浜緑ヶ丘高等学校 新体育館

（3）出席者

全校生徒教職員（約 900 名）、後援三徳会会員・牧陵会会員（約 300 名）

（4）招待者（36 名）

神奈川県副知事、神奈川県教育長、関係中・高等学校校長及び高校同窓会長
関係自治会町内会長、在籍経験教職員

（5）式次第

第 1 部 式典 挨拶、祝辞、寄付目録披露

第2部 記念行事

- ・学校の歴史紹介
奏者・語り：室井三紀氏（高校29期）の琵琶と現役高校生の管弦楽等のコラボレーション
- ・記念講演
講師：四季株式会社（劇団四季）
代表取締役社長 吉田智誉樹氏（高校35期）
- ・在校生部活動によるアトラクション
- ・母校の歴史資料展示（式典会場隣の格技場にて実施）

- (6) 記念品 記念式典出席者へ配布
- ・オリジナルクリアフォルダ
 - ・校章焼印入り黒糖どら焼き
 - ・記念誌ダイジェスト版

2 記念誌の編集発行

- (1) 発行日
2025（令和7）年5月1日
- (2) 作成方法
既刊の60・70周年記念誌を転載し、それ以降100周年までを編纂
- (3) 制作物
記念誌（上巻及び下巻のセット、計877ページ）及び記念誌収録のDVD
- (4) 制作数
1,000部
会員等への頒布、国会図書館への納本、公共図書館・関係高校等へ寄贈

3 メディアへの特集記事掲載

地元メディアに100周年記念特集記事を掲載し、母校100周年と緑高についての広報・PRを行いました。

掲載紙：神奈川新聞

タウンニュース（中・西・南区版及び磯子・金沢区版）

4 教育環境整備

- (1) 新体育館への冷風機設置（2024（令和6）年度）
冷風機を購入し、県の通常予算で整備された新体育館へ設置
- (2) 生徒会館の補修
老朽化している生徒会館の補修及び塗装
- (3) 「憩いの庭」の整備
旧体育館跡地を活用して生徒が憩える場として庭園を整備（県予算）

5 今後の予定

2025（令和7）年度をもって横浜緑ヶ丘高等学校 100 周年事業委員会は解散しました。引き続き、次の記念事業（教育環境整備等）を高校が中心となって進めるため募金残額を牧陵会管理口座から横浜緑ヶ丘高等学校管理口座へ全額移しました。

① 「憩いの庭」への 100 周年記念プレートの設置

2025（令和7）年度に施工した「憩いの庭」に横濱第三中学校から創立 100 周年を迎えたことを記す記念プレートを設置します。

② トロフィー棚の購入

高校のトロフィー棚を新しく設置します。

③ 横浜緑ヶ丘高等学校創立 100 周年事業の記録集作成

6 2025（令和7）年度横浜緑ヶ丘高校 100 周年記念募金収支報告

【収入の部】

項 目		金 額
募金収入	一般募金	1,038,000
	同期会寄付金	25,000
記念誌販売収入		1,986,000
収入合計		3,049,000

【支出の部】

項 目		金 額
まなびや募金送付	一般募金	1,210,000
	生徒会館分	8,000,000
記念誌販売経費	牧陵会立替諸費用	213,325
	発送費用	133,752
	記念誌保管料	181,214
	募金礼状作成発送	349,734
	振込手数料	2,585
支出合計		10,090,610

収支差額	-7,041,610
2024（令和6）年度繰越金	10,202,309
差引	3,160,699

【資産内訳】

横浜信用金庫本店 普通預金	3,160,699
---------------	-----------

牧陵会創立 100 周年記念事業について（案）

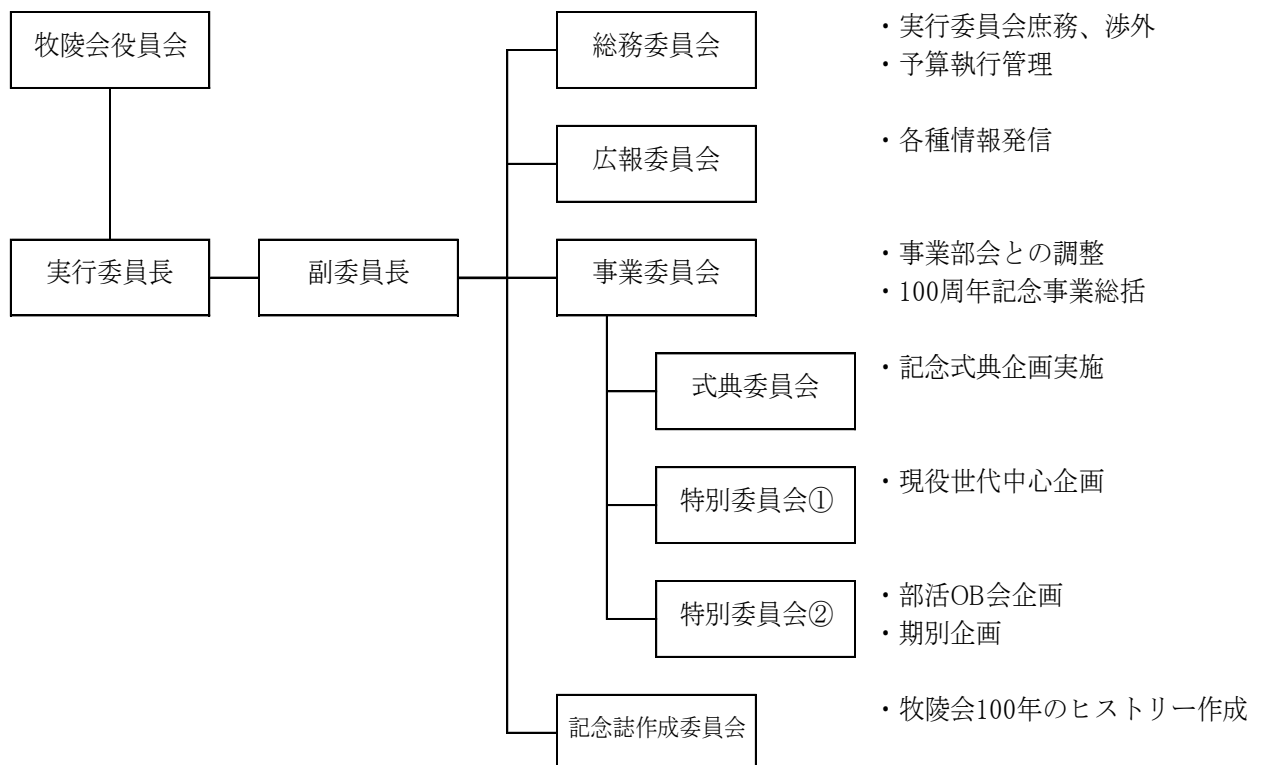
- 2028 年に牧陵会が創立 100 周年を迎えます。100 周年を祝うとともに次の 100 年に向けて歩み出すための記念事業を実施します。
- 事業の企画・実施にあたっては実行委員会を設置して推進します。

1 100 周年記念事業実施目的

- ・ 多くの会員が参加できる記念事業を実施し、同窓会の目的、意義を再認識いただきます。
- ・ 事業を通じて同窓会への愛着、帰属意識を高めることで、持続可能な牧陵会を目指します。
- ・ 各事業の実施にあたっては広く参画者・応援者を募り、今後の牧陵会運営の担い手発掘に繋がります。

2 実行委員会体制

(1) 組織イメージ（※2026 年度は実行委員会の体制づくり、事業企画等中心）



※ 特別委員会は、今後企画する事業内容に基づき設置します。

(2) 実行委員会メンバー

ア 実行委員長

牧陵会会長

イ 各委員長

牧陵会各部部长が兼任

ウ 各委員会委員

- ・メンバーは各委員長（役員会部部长）が中心となって集める
- ・役員会各部部长からメンバー選出&新規委員の開拓
- ・次の100年を見据えて若い世代の参画促進
(会員部会、青年部会が中心となり声掛け)

(3) 予算

一般会計に加え、牧陵会特別会計（記念事業積立金など）を活用します。

※ 記念事業積立金 2,658,613円（2026年3月末現在）

（参考：その他の特別会計）

牧陵会基金積立金 10,792,508円

活動維持積立金 2,067,519円

3 スケジュール（概略）

【2026（令和8）年度】

6月6日（土） 総会 実行委員会設置、特別会計予算活用及び実行委員長について承認

7月～9月 実行委員会組織体制づくり、規約等の作成

10月～3月 100周年記念主要事業の検討

プレ期間（2027年度）の事業の具体的企画、予算検討

【2027（令和9）年度】 プレ年度

4月～3月 100周年に向けた広報、記念事業検討・準備

6月5日（土） 総会 2027年度事業計画・予算確定

6月～3月 100周年に向けた機運醸成事業

100周年記念事業準備

【2028（令和10）年度】 100周年

6月3日（土） 総会 100周年記念事業の広報

7月 設立記念日

～3月 年度内に様々な記念事業を実施

創立100周年記念事業【最終報告】

年度	項目	取組内容 【県】神奈川県単独事業
2019年 (令和元年)	◆100周年事業委員会発足	●100周年記念事業のロゴマークを生徒募集する ・みどなりくん及びみどりんちゃん (創立90周年で製作) をキャラクターで使用する
2020年 (令和2年)	コロナ禍により活動休止	
2021年 (令和3年)		
2022年 (令和4年)	・100周年事業委員会 部門別担当者の選任、拡大 委員会の開催 ・記念誌編纂着手	●県教育委員会との協議 ・募金での教育環境整備について ●100周年記念事業ロゴマークの決定
2023年 (令和5年)	44# 術吏100㊦偉 ・100周年記念募金開始 ・記念誌編纂作業	●新体育館工事着工【県】 ・100周年記念式典は新体育館で開催(2024年秋) することを決定 ●生徒への記念品配布(マグカップ)
2024年 (令和6年)	・100周年記念募金実施 ・100周年関連事業の実施 ・教育環境整備 ・記念誌編纂作業 ※100周年記念式典延期決定 (体育館の工期遅れ)	●100周年記念ぜんりょく音楽祭開催 ●100周年記念芸術鑑賞会 ●教育環境整備 ・冷風機の購入及び新体育館への設置 ●生徒への記念品配布(トートバッグ)
2025年 (令和7年)	・100周年記念式典開催 ・記念誌(冊子及びDVD)発行 ・教育環境整備 ・100周年記念募金実施 (~6月) ◆100周年事業委員会終了 →周年事業委員会へ引継ぎ	★100周年記念式典の開催(5/23) ・式典(全生徒・教職員、副知事、後援三徳会、 牧陵会、地域・学校関係者参列)約1,200名 ・母校の歴史弾き語り ・記念公演 ・部活動によるアトラクション等 ・参加者へ記念品配布(クリアホルダー他) ●神奈川新聞 100周年記念特集記事掲載 ●タウンニュース 100周年記念特集記事掲載 (西・中・南区版、磯子・金沢区版) ●教育環境整備 ・生徒会館補修、塗装 ●旧体育館跡地への「憩いの庭」整備【県】
2026年 (令和8年)		●「憩いの庭」への100周年記念プレート設置予定 ●教育環境整備 トロフィー棚の整備予定

IV 2026（令和8）年度牧陵会活動計画について

2023年に創立100周年を迎えた母校は、昨年の5月23日に開催された記念式典を経て次の100年に向けた歩みを進めています。

牧陵会についても2028（令和10）年に創立100周年を迎えます。牧陵会が長い歴史を重ねていく中で、数多くの会員が日本国内に留まらず世界の各界各層において活躍をしています。牧陵会は正に人材の宝庫であり、それは会の大きな財産となっています。

一方で、近年会費納入者が減少しており、伝統ある学校同窓会として持続可能な組織としていくためには会費収入の確保が最大の課題となっています。

2026（令和8）年度は、会員相互のさらなる交流と親睦を深めること、母校の発展に寄与していくことはもとより、未来に向けて強固で持続可能な組織体制を維持していくために、若手会員の関心を高めていくことを最重点とするとともに、2028年の100周年に向けた組織を立ち上げ、記念事業の準備を進めてまいります。

1 会員相互の交流、親睦の場を提供する事業

(1) 2026（令和8）年度牧陵会総会・懇親会の開催

年次総会を開催するとともに、懇親会を開催し、会員相互の親睦を深めます。

期 日：2026年6月6日（土）14：00～

会 場：（総会）リロの会議室 関内横浜スタジアム前
（懇親会）清香園（中華街中山路）

(2) スポーツ応援隊の実施

運動部の試合（県大会以上）を部活OB会と協力して応援隊を結成し、会員に参加を呼びかけます。

(3) 牧陵・緑のフェスティバル

ホームカミングデーとして母校に集まる機会を提供し、会員同士の親睦を深めるとともに愛校心及び同窓会への帰属意識を育みます。

期 日：2026年11月7日または14日（調整中）

会 場：横浜緑ヶ丘高校

参加者：牧陵会会員、緑高在校生など

内 容：未定

(4) 同期会幹事委員会の開催

牧陵・緑のフェスティバルと同日に、各年代の同期会幹事の交流会を実施し、情報交換と親睦を深めることで世代を超えた繋がりをつくっていきます。

期 日：未定

会 場：横浜緑ヶ丘高校

内 容：未定

(5) 第21回青春かながわ校歌祭への参加

神奈川県立高等学校同窓会が一堂に会し、母校の校歌を斉唱することで会員相互の交流を促進します。参加にあたっては可能な限り在校生の参加も呼びかけます。

期 日：2026年10月24日（土）

会 場：南足柄市文化会館（運営幹事校：神奈川県立吉田島高等学校）

参加者：牧陵会会員（及び緑高在校生）、

内 容：横濱第三中学校校歌 横浜緑ヶ丘高校校歌（予定）

(6) 牧陵会新年のつどい開催

新年を祝うとともに会員相互間の交流を図り、親睦を深めます。

期 日：2027年1月

会 場：未定

参加者：会員、来賓

(7) SNSを活用した情報発信及び交流の促進

若年層が日常的に接するSNS（Instagram）を活用し、若手会員との接点を新たに創出し、牧陵会活動への関心と参加意欲を高めます。

(8) 同期会開催支援

各期の同期会開催にあたり、会員情報の提供や支援金を支出します。

(9) その他

会員同士の親睦や在校生との交流を促進する事業の支援、企画・実施

- ・ 牧陵会員の主催するスポーツ・文化催事を各部会と連携し応援します。
- ・ 会員による同好会の結成及び活動を支援します。

2 母校の発展に寄与する活動

(1) 「学びの奨励基金」運営への協力

生徒の主体的な学びに対して奨励金を交付する基金の運営、選考に委員として就任して協力します。

ア 「学びの奨励基金」運営委員会 委員（3名）

イ 「学びの奨励基金」選考委員会 委員（3名）

(2) 緑高祭開催支援

緑高生の最大行事のひとつである緑高祭の開催を支援します。

期 日：2026年6月13日（土）～14日（日）

会 場：横浜緑ヶ丘高校

内 容：開催支援金の交付、校史資料室での展示

(3) 「緑高セミナー」開催支援

緑高が在校生対象に開催するセミナーへの講師派遣など、開催を支援します。

期 日：未定（年2回予定）

会 場：横浜緑ヶ丘高校

内 容：未定

(4) 母校の運営への参画

学校運営協議会への委員として就任します。（2名）

(5) その他、母校及び在校生への支援

3 広報活動ほか、本会の活動基盤強化を図るための事業

(1) SNS を活用した情報発信及び交流の促進（再掲）

若年層が日常的に接する SNS (Instagram 等) を活用し、若手会員との接点を創出し、牧陵会活動への関心と参加意欲を高めます。

(2) 卒業生へのインタビュー及びnote を活用した情報発信

多方面で活躍している卒業生の様々な活躍状況、在学時の緑高の様子、後輩へのメッセージ等を直接インタビューし、青年部会が中心となって「note」を活用して発信し、若手会員のキャリアデザインの一助にして頂くことに加え、若手会員に対する牧陵会の認知をさらに拡大するとともに牧陵会活動への関心と参加意欲をさらに高めます。

※ 「note」：文章や画像、音声、動画を投稿して、ユーザーがそのコンテンツ

を楽しんで応援できるメディアプラットフォーム

インタビュアー：佐藤 颯 氏（高校 73 期、牧陵会青年部会長・会員部会副部会長）
渡邊 宥介 氏（高校 73 期）

投稿数：2回（2026年4月～）

・バスケットボールB3リーグ アースフレンズ東京Zオーナー（計2回）

山野 勝行 氏（高校 46 期）

以下、今後の予定となります。

・能登半島復興支援・防災事業会社代表

加藤 愛梨 氏（高校 63 期）

・政治ジャーナリスト

今野 忍 氏（高校 46 期）

※ 今年度は毎月の投稿を目標としています。

(3) 牧陵新聞の発行

牧陵会行事の案内、学校の様子や同窓生の活躍などを紹介します。なお、牧陵新聞の発行回数、送付方法、電子化など新たな発行方法を検討します。

第 51 号 2026（令和 8）年 8 月

第 52 号 2027（令和 9）年 1 月

(4) ホームページの改善及び活用

新着情報がわかりやすく告知できるページ構成に改善するとともに、多くの会員にアクセスしてもらえる方法を検討・実施します。また、会員限定の情報サービスのあり方につき検討し、実施します。

(5) 宛先不明会員の解消、会員情報の整備

会員同士の交流活性化のため、引き続き、会員情報の整備を行います。

(6) 会費納入率向上及び収支見直し

年々低下している会費納入率の向上策を検討するとともに、引き続き経費削減策を検討し、実施します。

4 牧陵会 100 周年に向けた活動

2028 年に牧陵会が創立 100 周年を迎えます。100 周年を祝うとともに次の 100 年に向けて歩み出すための記念事業を実施するため、実行委員会を設置して準備を進めます。

詳細：別紙

V 2026（令和8）年度 牧陵会予算（案）

自 2026年4月1日 至 2027年3月31日

（単位:円）

【収益】

項目	2026年度予算額	2025年度決算額	予算決算差額	内訳
会費収入	4,300,000	4,230,000	70,000	
寄付金収入	3,000,000	2,894,346	105,654	
緑のフェスティバルチケット収入	200,000	170,000	30,000	
新年会収入	450,000	438,000	12,000	
雑収入	50,000	42,057	7,943	
入会金	810,000	810,000	0	
受取利息	25,000	25,035	-35	
収益合計	8,835,000	8,609,438	225,562	

【費用】

項目	2026年度予算額	2025年度決算額	予算決算差額	内訳
通信費	200,000	232,670	-32,670	
総会・幹事会開催費	60,000	13,900	46,100	総会会場費・通信費
事務所賃借料	1,270,000	1,256,715	13,285	事務所家賃・共益費
事務局人件費	850,000	1,056,836	-206,836	2名・週2日
印刷複写費	90,000	86,364	3,636	コピー機カウンター料
事務機器賃借料	193,000	210,936	-17,936	コピー機リース料
会費等振込手数料	360,000	331,460	28,540	
事務用品等	70,000	81,481	-11,481	
総務部会運営費	30,000	128,512	-98,512	dropbox使用料・事務所備品
スマホ決裁導入費用	50,000	0	50,000	会費収集新システムの導入
会員部会運営費	135,000	16,665	118,335	同期会幹事委員会
同期会支援費用	300,000	200,000	100,000	メモリアル3件.敬老5件.一般5件
同好会支援費用	120,000	100,000	20,000	同好会8団体
事業活動費	1,140,000	1,222,156	-82,156	緑のフェスティバル・校歌祭
広報費	3,380,000	3,354,852	25,148	牧陵新聞・ホームページ
牧陵校史資料室運営費	5,000	32,775	-27,775	
母校活動支援金	150,000	200,000	-50,000	緑高祭・部活動県大会以上出場
SNS発信費用	430,000	82,430	347,570	若年世代会員への情報発信
費用合計	8,833,000	8,607,752	225,248	

VI 2026（令和8）年度 牧陵会役員の改選について

役職名	氏名	卒業期	備考
会長	<u>中村ひとり</u>	高26期	
副会長	<u>小林 道昭</u>	高28期	事業部会・100周年担当
	<u>田原 正崇</u>	高44期	渉外・会員部会担当
総務部会長	<u>小濱 千文</u>	高31期	事務局長兼任
総務部会副部会長	吉野 丈二	高31期	
会員部会長	<u>砂川 裕美</u>	高46期	
会員部会副部会長・青年部会長	佐藤 颯	高73期	広報部会副部会長兼任
同期会幹事委員会 委員長	中村ひとり		会長兼任
事業部会長	<u>船橋 信之</u>	高26期	
事業部会副部会長	山崎 愛	高46期	
	稲村 守彦	高29期	
広報部会長	<u>西尾 匡弘</u>	高33期	
広報部会副部会長	佐藤 颯	高73期	会員部会副部会長兼任
校史資料室運営部会長	<u>片倉 正一</u>	高23期	
校史資料室運営部会副部会長	小島 淳子	高32期	
事務局長	<u>小濱 千文</u>	高31期	総務部会長兼任
会計監査	<u>林田 政義</u>	高15期	
	<u>美濃 一代</u>	高22期	
相談役	鈴木 正次	高11期	
	峯嶋 利之	高12期	
	山下東洋彦	高13期	
	池田加津男	高21期	
	直井ユカリ	高32期	

※総会議案対象は、太字で表記

牧陵会からの各種委員会等委員

2026. 6. 6～

	委員会名	牧陵会からの委員 (★は委員長)	他の委員
1	横浜緑ヶ丘高等学校学 び の奨励基金運営委員会	★中村ひとり 小島 淳子 美濃 一代	高校教職員、後援三徳会 (委員は各団体で選任)
2	横浜緑ヶ丘高等学校学 び の奨励基金選考委員会	★中村ひとり 片倉 正一 小濱 千丈	高校教職員、後援三徳会 (委員は運営委員会で選任)
3	学校運営協議会	★中村ひとり 小島 淳子	学校長が推薦、県が委嘱 ・学識経験者、地域団体、地元中学校長 後援三徳会等
4	青春かながわ校歌祭 実行委員会	(実行委員会監事) 中山 敏章	
5	横浜緑ヶ丘高等学校 100周年事業委員会	★中村ひとり 田原 正崇	※委員会は終了 (残事業について学校との調整)